

令和2年度 第1回中津川市立図書館協議会 議事録(要約)

時：令和2年8月20日(木)15:30～

於：中央公民館 4-2学習室

「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき公開した。

- ・ 傍聴人0名

出席者(17名)

■委員(8名)

近藤 信幸、桑澤 芳江、竹入康治、荻山由子、松木詠史、
田中孝一、小倉尚美、仲川直毅

■事務局(4名)

文化スポーツ部次長 松井嘉之、
図書館長 小池孝子、係長 原美佐子、主任 山内瑞稀(記録)

■説明員(5名)

まちづくり推進室室長 草野順樹、主任 吉田真唯子
久米設計(3名)

1 開 会

2 委嘱書及び任命書交付

3 あいさつ(文化スポーツ部次長)

市民交流施設についてご意見があればありがたい。市民からの関心が高い施設のため、意見を聞き、取り入れていきたい。

コロナについて、図書館だけでなく他の文化施設において、様々な注意をしながら運営している。市民の協力がなければ続けられないことが多いため、関係者に周知をお願いしたい。

4 委員、職員の紹介 (資料1・2)

5 会長、副会長の互選

6 報告事項

報告1 中津川市立図書館におけるコロナ感染対策の経過について (資料3)

小池図書館長：(資料説明)

会 長：なにかご意見があればどうぞ。

委 員：公民館等の地域事務所で受取ができるとのことだが、知らないという人もおり、周知が足りないと思われる。ドラックストア等で受け取れるサービスをおこなっている図書館もあるようだ。もっと簡単に受け取れるような方法を考えてほしい。

会 長：全国で図書館のあり方を考えていかななくてはならない。本の配達等については費用等の問題もある。図書館は基本無料が原則。今後つくっていく図書館ではこういった対策を含めて作っていかねばならないと思われる。これまでに市民からの苦情等があれば教えてほしい。

小池図書館長：臨時休館中に予約本だけでも受け取らせてほしいとの意見があった。

当時は外出自体を自粛するという県や国の方針により、受取りのために来館してもらうことも憚られたためできなかった。ただ電話での本の予約について、これまでは口答による間違いを防ぐため受けていなかったが、予約できるようにした。開館したら人が殺到するかと思われたが、人の戻りは緩やかだった。

会 長：これからは個人がそれぞれ自衛をしていく必要がある以上、なかなか人が戻らないのは仕方がない。

副 会 長：今後も新しい制度等があれば、積極的に広報をしていってほしい。

報告2 中津川市子ども読書活動推進計画について

小池図書館長：(資料説明)

協議会の方で進捗管理と評価をしていくことになっている。次回には昨年度の進捗報告ができると思うので、評価等お願いしたい。

会 長：随時でてくる進捗を皆で評価していくことになる。

報告3 読書推進のキャッチフレーズについて (資料4)

小池図書館長：(資料説明)

これで決定ではないため、忌憚なく意見等いただきたい。

会 長：こういったキャッチフレーズを、イベントや発行物等で PR して欲しい。意見等あれば、またあらためて出してほしい

報告4 (仮称) 市民交流プラザについて (資料5)

草野まづり推進室長(以下、草野室長)：(資料説明)

施設としては図書館を中心に学び、子育て、市民交流、観光を盛り込んだ複合施設。ボランティアさんを含め頂いた意見をできるだけ反映していきたい。スケジュールとしては、今年度中に設計。

久米設計：(資料説明)

会 長：意見等あればいただきたい。スケジュールについて、ワークショップ等の広く意見を求めるイベントをしてほしい。

草野室長：コロナの影響もあり、ワークショップ等で大掛かりに意見を聞くイベントができない。いまのところは意見を各所に求めている。

副 会 長：今回の施設について、市民等の意見としては本当にできるのか、と懐疑的なものが多い。施設等について出た意見や決まったことなどは随時公開してしてほしい。

会 長：関係者に対しインタビューしていくのは良い。しかし、コロナの対応で難しいのも分かるが、前回の失敗も念頭において、全体に広く意見を求めてほしい。

委 員：今回の図書館建設について、高校生という面で意見させてほしい。家庭で学習スペースがあることが基本ではあるが、それができないこともある。現在は自習するための塾もあり、高校で学習のために開放しているスペースもかなり利用がある。活動室として色々リバーシブルな利用ができるのも良いとおもうが、日によって部屋が使えないのは困る。基本的な図書館施設の確保、学習室の確保について教えてほしい。

久米設計：現在の計画では3階の活動室が学習室にあたり、そちらは固定となる予定。利用していく中で、1階ギャラリーに机があれば、高校生たちの利用も集中すると思われる。固定的な部屋もあり、フリーにつかえる机もあるという形にしていきたい。

委員：固定となる学習室はどのくらいか。

久米設計：規模について等はまだ検討段階。形態に関しても、こういった形にしていくか今後検討していく。

委員：駐車場に関してはどうか。

草野室長：隣接した駐車場のほかに、中電跡地やにぎわい広場等を確保している。Maxで250台程。

委員：中心市街地以外の地域にとっては関係ないという意見もある。そちらに対してどういったメリットを示していくのか。

草野室長：学びの拠点として市内全域の学生に集まってもらえる施設としていく。駐車場を確保し、大型商業施設の近辺に設置することで来てもらいやすくしていきたい。

小池図書館長：図書館として中央館が充実してくことで、地域への配本業務等もより拡充できると考えている

会長：子育ての部分が非常に分かりづらい。職員は配置されるのか。

草野室長：計画の段階では相談員を配置し、合わせて図書館の児童コーナーを利用してもらうことで遊びと学びを両立していただきたい。

副会長：総合的な管理者は図書館長になるのか。それぞれの機能で責任者が違うのか。

草野室長：そちらも現在は検討段階。それぞれの機能ごとに担当者がつくことにはなる。

委員：今回のプレゼンについてだが、専門的な単語が多く煙に巻かれた気持ちになる。できる限り日本語に、多くの人にわかる言葉に変更して説明をお願いしたい。

松井文化スポーツ次長：人が集まる上で、できる措置、換気等あれば教えてもらいたい

久米設計：施設としてできるのは換気や手洗いのできる施設。その他図書館として書架の設置をどうしていくか。書架ではない部分をできる限り広く使えるように、密集しないようにしていきたい。滞在型として作った図書館も現在はイス等を撤去している。いま検討しているのは上からの換気ではなく、下から換気をする形。窓をあけなくても換気ができるなど、いろいろな技術をつかっていきたい。

会長：天井の高さはどうなっているか。

久米設計：できるかぎり確保していきたいが、1階は2階が乗るので調整できる高さには上限がある。

7 その他

8 閉会（図書館長）